

望月歴史民俗資料館見学

望月歴史民俗資料館 土屋哲章先生

実施日：令和4年5月25日（水）



これまで中山道について学習してきたが、そのまとめとして佐久市立望月歴史民俗資料館を見学させていただいた。職員の方から、縄文時代の復元した住居や出土した土器・石器の解説をしていただいたり、望月は駒の産地であり、その遺跡も残っていたりすることを教えていただいた。

また中山道の望月宿の変遷も教えていただいた。江戸時代の絵地図や古文書が展示されており、往時をしのぶことができた。

館内には明治時代以降の暮らしぶりを感じさせる展示品も数多くあり、時代の流れや歴史の重みを感じることもできる時間であった。

【生徒の授業日誌より】

・中山道以外にも歴史や昔のものが見られてよかった。土器もいっぱいあってすごかった。大きい土器もあった。小学校3年生のときに資料館に来たときはわからなかったけど、高校生になって少しでも話が理解できてよかった。

・宿場はずっと泊まる場所だけだと思っていましたが、今日話を聞き、江戸幕府の敵の時間稼ぎということがわかりました。郵便の中継地点だということもわかりました。

・中山道には長く古い歴史があることがわかった。道中の宿の道を曲がらせることで、敵の進行を遅らせる作戦があることもしった。

・自分の地区とすごく近い町で、こんなにも誇りある歴史が埋まっていると考えるとすごくわくわくする気持ちになれます。しっかりと歴史を感じることができてよかったです。

・今回は中山道望月宿を見学させてもらったが、中山道のほかにも人の荷物なども見学させてもらってよかったと思います。これまで中山道のことをやりましたが、宿場の仕事や中山道の意味などを深く知り、よく学習ができたのでよかったです。